

はじめに

応用社会経済学1への
イントロダクション
担当：今井祐之

今回の課題

- ✓ 履修選択の参考になるように、クリアしておく。――
- 1. この講義の受講情報
- 2. この講義が定義する「経済」の意味

今回の内容

- ▶ はじめに [このスライド]
～この講義へのイントロダクション～
- 1. この講義の内容について
- 2. この講義の受け方について
- ▶ 経済と経済学 [次のスライド]

1. この講義の内容について

What――何をやるの？

先が見えない，困った困った

- 日本も世界も先の見えない変革の波に呑み込まれている。
- このような不確実性の時代を生きていくためにどうしたらいいのか？
 1. 不確実なことにしがみつき、その変化にがむしゃらに食らいついていく。
V あるいは
 2. 現代社会とは一体なんなのか、確実なことを把握しておく。
➢ この講義の方針

どうやったら “確実なこと”がわかるの？(1)

- “現在” = 今 (*now*) を見た瞬間に、その“現在”は過去になっている。
 - “現在”を絶えず発展させながら生み出している“現代” (*modern*)こそが確実なもの。



どうやったら “確実なこと”がわかるの？(2)

- “ここ” (here) と言っても、無限のここがある。
 - どの“ここ”をも含んでいるような“世界” (world) こそが確実なもの。



それでは“確実なこと”は何？

- Q それでは“現代”の“世界”とは一体なに？
- A 世界を支配しており、また絶えず変化・発展しながら再生産されている資本主義だ！
- この講義は、人類史上初めて世界システムを形成した現代社会＝**資本主義的な市場社会**をその基礎から把握する。
 - それによって，“今とここ”にしがみついた諸議論について，社会システム内でのそれぞれの位置付けも明らかにできるだろう。

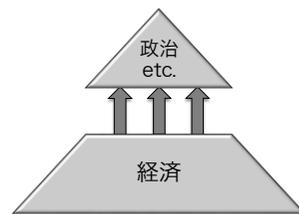
「社会」経済学とは？(1)

- 消極的な意味
 - 家庭の内部の経済活動を対象とする家政学とも企業の内部の経済活動を対象とする経営学とも違って，
 - 社会の経済活動を対象として扱う。



「社会」経済学とは？(2)

- 積極的な意味
 - 「社会システム全体」の土台として経済をとらえる。



「応用」経済学とは？

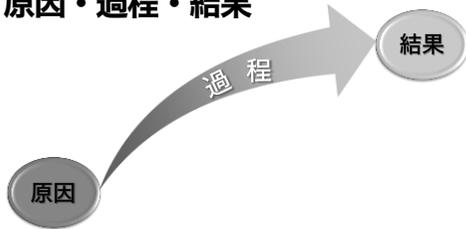
- 一般に応用 (applied) 経済学という場合に，
 1. 理論系に対して実証系の科目
 2. 基礎系に対して応用系の科目
- 応用社会経済学の場合には，2の意味 = すなわち
- 理論系の科目だが，経済原論に較べると，高度で細かいトピックスを扱う。

応用社会経済学1の課題

- 経済活動の根本をなし，経済システム構築の基礎である
- 人間の活動＝**労働**
- に着目して社会システム全体に接近する。
- これにたいして，応用社会経済学2では経済システムのタテマエ＝正当性の根本をなす，**所有**に着目して社会システム全体に接近する。

じゃ一体なにやるの？

- 中心テーマは、
イノベーション (技術革新) の原因・過程・結果



経済学における技術革新論

- 経営学
 - “この企業”と“あの企業”との違いが重要
 - “この企業”にとっての観点が重要
- 経済学
 - 企業と社会全体との関係が重要
 - “社会全体”にとっての観点が重要

他の科目との関連は？

- 経済原論A系の科目だが、経済原論Bに属するトピックスも扱う。
- 経済原論Aよりは専門的な問題を扱う。
- できれば経済原論AおよびBを履修しているのが好ましいが、必須ではない。

2. この講義の受け方について

How——どうやって受講するの？

教員による講義進行

- スライドを使って講義を進めていく。
 - 板書はしない。
- ビデオの回等、時間がない場合を除いて、前回の復習を簡単に行う。
 - 復習のスライドについては、“スライド配付資料”教員が印刷して受講者にその場で配布する。
- 今回のメインの内容については、前回までに“スライド配付資料”をWeb上で配布しておく。

メインのスライド

- 青色のスライドは、講義の本筋をなすメインのスライド。
 - 講義で使用した限りは必ず試験範囲に入る。
- ※ 前回までにWeb上でスライド配付資料を配付しておく。



サブの 슬라이ド

- 紫色の 슬라이드는, サ브의 슬라이드.
- 1. 本筋の内容を詳しく補足説明する場合
- 2. 本筋の内容を離れて協道の議論を紹介する場合
- ▶ 講義で使用した限りは必ず試験範囲に入る。



おまけ의 슬라이드

- 黒で「参考」というマークが入った 슬라이드는, おまけ의 슬라이드.
 - 講義の課題と直接には関係がないトピックス
 - 経済学以外の学問分野のトピックス
 - 経済学のやや高度なトピックス
 - その他
- ▶ この 슬라이드는 試験範囲には入らない。



その他の 슬라이드

- 緑色の前回の復習の 슬라이드 (前述)
- 学生からの質問に答えるための Q & A の 슬라이드
- ビデオ解説の 슬라이드 (試験範囲外)
- などなど……
- 全般的に言うとも, 背景がモノトーン (白・黒・灰色) であるような 슬라이드는 試験範囲に入らない。

教科書等

- 教科書はない。
- 参考文献は随時, 紹介する。
- 슬라이드 配付資料が教科書代わりになる。

学生による受講

- 各自, ダウンロードし 予習しておいたメインの 슬라이드의 “슬라이드 配付資料” を手許に置いて受講する。
 - 紙に印刷してもよい。
 - タブレット, ノートPC等に 表示させてもよい。

勉強の仕方

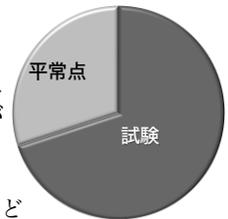
1. [予習]
 - ! **次回の分のメインの 슬라이드 配付資料** を読んでおく。[必須]
2. [講義中]
 - 今回の分の 슬라이드 配付資料にメモを書き込む。
3. [復習]
 - 自筆メモと 슬라이드 配付資料を確認する。
 - わからない部分は質問したり, 補足レジュメ・参考文献を読んだりする。

インターネットの利用

- スライド配布資料・レジュメ等はWebに
- Blackboardの活用
 - 講義についてのアナウンス
 - 成績評価の素点の公開
 - 追加的な講義資料（講義動画等）
 - その他
- 質問は、メールでも

成績評価

- 学期末の試験（70%）
- 平常点（30%）
 - 講義内の小レポート（ビデオの感想文）など
- この他に、100点満点に加算されるボーナス点がある。
 - 任意提出のリアクションペーパーなど



試験について

- 持込み不可
- 事前に問題は出さない
- 論述4題（予定）

パクリ禁止

- ビデオ感想文，レポート，リアクションペーパーなどにおいて，以下のものからの丸写し，あるいはほとんど丸写しがあった場合には，**単位を出さない**。
 - Web上の情報資源
 - 他の学生が提出したもの
 - その他

講義態度

×私語はダメ

○ 注意2回でレッドカード（退室）

×携帯電話・スマホはマナーモードに

クレームは私語にあらず

- 講義への緊急のクレームは私語ではないので，遠慮なく講義中に申し立てること。
 - 声が聞こえない！
 - 空調が暑い／寒い！
 - 火事だっ！
 - etc.